

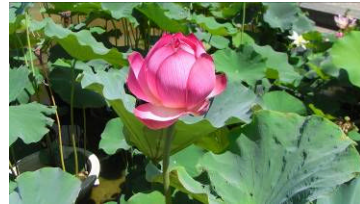
のうがくかい 「なごやか農楽会」だより

第55号(7月号)
平成30年8月10日発行
なごやか農楽会事務局

新年度が始まって思うこと

日本の人口構成も高齢化が進み、若者の〇〇離れは約46年前から始まった。〇〇離れはあらゆる分野に広がり、農業離れにも。愛知県の農業が全国47都道府県中5位であるのは、都市としての新しい技術を取り入れる一方、消費する人口も多く、観光農園、産地直売も寄与している。名古屋の緑地・農業地は3割とのこと。農村には豊かな自然や体や心をリフレッシュする為に訪れる人も多い。農業の楽しさ、大切さを伝える事も必要。都市部農家さんの担い手も減少した現状に手助けをするとともに、自分自身の健康と野菜作り技能習得に農業ボランティア養成講座の4期生として1年間を楽しく学んで、即なごやか農楽会入会して、もう14年目を迎えています。個人的には、露地野菜に果樹木へと自家畑での作物の種類を増やし、自家での捕食材として賄えるように努力中。それぞれの農家さん独自の考え、作業方法があります。その指示と指導で、援農作業をすることが、信頼されての人間関係も確立されると思います。平成21年には、軽い気持ちから副事務長として広報誌農楽会だよりの編集補助を担当。この期間は農楽会そのものの実態を学ぶ良い機会となりました。平成24年から事務長に、今年度は会長(5代目)として農楽会の皆さんと農家さんの繋ぎ役として、頑張りたいので、ご協力よろしく申し上げます。

会長 花井幸久



(農業センター
睡蓮)

研修アンケート結果など

研修アンケート調査の結果について平成30年度農楽会総会で実施した研修アンケートの結果をお知らせします。総会出席者=77名。アンケート回収=71名。回収率=92%。(内訳:1~16期生=58名。17期生=13名)1~16期生を研修アンケートの対象とし、17期生のアンケートは参考とさせて頂きました。

集計の結果は、次のとおり。

- (1) 座学主体の研修=9名
 - (2) 実技主体の研修=18名
 - (3) 施設の見学=20名
 - (4) 親睦会=2名
- 無効(複数回答)=9名

以上により、30年度以降の研修企画は、「施設の見学」を毎年度行うとともに、実技の研修希望も多い(17期生の大半は実技主体の研修希望)ことから、「実技主体のフォローアップ研修」も組み込んでいくこととします。

平成30年度研修について

本年度の研修として『げんきの郷(大府市)の見学』を実施します。

日時 11月27日(火曜日)

集合場所 JR大府駅西口

集合時間 午前9時半

参加費 2500円程度

上記集合場所と「げんきの郷」とをマイクロバスで送迎。【マイカーによる現地集合可】

(次号に募集内容等をご案内。お楽しみに)

各支部の活動

てんぱく支部			
月	延人数	延時間	主な活動
4	40	141	カボチャ定植、マルチ外し、張りとうもろこしやご取り、肥料入れ ブドウ花切り
5	100	320	トウモロコシ植え、土寄せ、玉ねぎ草取り・収穫、サツマイモ苗植え、カボチャ蔓広げ。 ブドウ花切り、玉抜き。
6	56	179	タマネギ収穫・皮むき、 ブドウ粒抜き、袋かけ

みどり支部			
月	延人数	延時間	主な活動
4	52	114	トマトトーン散布、中玉・ミニトマト収穫・脇芽取り、サツマイモ畑草取り、堆肥及び苦土石灰散布、耕耘。 トマト下葉取り、脇芽取り。
5	92	207	ミニ・中玉トマト収穫、トマト脇芽取り、水稲種まき、梅収穫、サツマイモ苗植え手伝い、モモ袋かけ、ブドウ副穂切り、果穂切り、やごかき、GA処理、摘粒。 堆肥散布、耕耘、畝立て、マルチ張り、幼稚園児苗植え手伝い
6	81	171	ミニ・中玉トマト・梅収穫、みかん畑の草取り、支柱立て、きゅうり定植、きゅうり・ゴーヤネット張り。 サツマイモ畑除草、さし芽植え。 ブドウ摘粒・袋かけ、みかん摘果、モモ袋整理、ブドウさやかかけ。 サツマイモ苗張り、じゃがいも収穫。

もりやま支部			
月	延人数	延時間	主な活動
4	35	73	マルチ張り、やご取り、ミニトマト袋詰め。 カラス対策、巨峰蔓切り。 ブルーベリー剪定、植え替え、施肥、摘花。
5	38	80	トマト下葉落とし、収穫・袋詰め、やごかき。 ブドウ誘引、肩づくり。 天井ネット張り、柑橘の剪定。
6	26	52	トマト袋詰め、片付け、雨よけのビニール外し、カラス対策、天井ネット張り、梅収穫

港・中川支部

月	延人数	延時間	主な活動
4	62	204.3	下葉落とし、トマト販売。 春野菜の収穫、草取り、夏野菜の定植。 畑の起耕、耕耘、枝豆の植付け等。
5	69	244.5	トマト下葉落とし、集積。 玉ねぎ・大根等の収穫、畝づくり等 トウモロコシの倒伏株起こし、マルチ剥がれの修正
6	79	218.5	下葉落とし、下葉集積、糸切り、草取り、タマネギ・にんにく・オクラ・ピーマン植え付け、じゃがいも・ナス・きゅうり収穫、コーン株元の雑草抜き、枝豆・水菜・小松菜種まき、薬味ネギの整理、枝豆の選定

各支部の活動時間の合計は、4月 532.3 時間 5月 851.5 時間 6月 620.5 時間 合計 2004.3 時間で前年同期の 2326.5 時間に比べ 1.4 割減となっています。

評議会報告

5月度会議 (5月13日開催)

報告事項

① 各支部長より、前月の活動報告、当月の活動計画の説明がなされた。

(6月、7月度も同様につき省略)

② 会員数 172名 会費未納 25名

審議・検討・依頼事項

総会の出席者 77名でした。

① 検討事項について

- ・総会に向け、準備不足の点もあり、少し余裕を持って、役割の見直しなど早めに検討・準備を行うこととする。

- ・新年度の体制等について

30年度の体制・任務・活動予定について確認した。

② 研修アンケート結果について

アンケート結果に基づき、30年度以降の研修について検討。(本号にて内容記載)

③ 農業まつり協賛行事について

11月3日(土)、4日(日)の農業まつりで、稲の栽培キット等の販売を行うと共に、農楽会の活動紹介及び講座申込みの案内に、これまで以上に取組む。

6 月度会議（6 月 9 日開催）

報告事項

- ① 会費納入状況報告あり。未納者 22 名。

審議・検討・依頼事項

- ① 30 年度の研修会について
げんきの郷（大府市）を見学する案を進める。（本号にて研修内容記載）

7 月度会議（7 月 9 日開催）

報告事項

- ① 会費納入状況報告あり。未納者 18 名。

てんぱく支部	12 名
みどり支部	2 名
もりやま支部	4 名
港・中川支部	0 名

審議・検討・依頼事項

- ① 30 年度の研修について
げんきの郷（大府市）見学を 11 月 27 日（火）に実施する。
- ② 次回評議会から 30 年度事業計画に基づき、なごやか農楽会 HP 運営等 P J の立上げ検討、農楽会だより編集検討を開始する。

農 楽 コ ー ナ ー

平成 30 年度総会開催

平成 30 年度総会が、4 月 22 日日曜日 13 時より、農業センター講義室で開催されました。当日は、77 名の会員の出席となりました。総会は、鈴木農業センター所長より、あいさつの後、大原会長の司会で進行しました。川合事務長から平成 29 年度の事業報告、平成 30 年度の事業計画の提案、会計担当等から平成 29 年度決算報告及び監査報告、平成 30 年度予算の提案がなされました。質疑に入り、ハガキによる総会の案内以外の方法もあるのではとの意見があり、次回は、メールによる案内も検討することとします。質疑終了後、各号議案が、承認されました。また、平成 30 年度の役員・事務局員の選出では、花井会長以下 11 名の新役員が選出されました。

この後、ボランティア保険の説明、自習畑の案内、研修についてのアンケートなどを行い閉会しました。

また総会后、所属支部ごとに分かれ、支部総会が開催されました。

平成 30 年度役員

会 長	花井 幸久	(4 期)
副会長	間瀬 和夫	(7 期)
事務長	川合 雅彦	(7 期)
てんぱく支部長	杉野 正和	(13 期)
みどり支部長	橋本 朝一	(2 期)
もりやま支部長	佐藤 誠治	(16 期)
港・中川支部長	山内 伸明	(13 期)
副事務長	水野 正勝	(13 期)
同	木村 弘昭	(16 期)
会 計	中地陽一郎	(16 期)
会計監査	松原 洋子	(9 期)

会費納入のお願い

会費が未納の方は、お早めに納入をお願いいたします。振込は、次のとおりです。

【郵便局から振込む場合】

振込先：郵便局（支店コード 1 2 1 0 0）
口座名：なごやか農楽会 種類：普通
口座番号 6 8 4 4 6 9 3 1（8 桁）

【郵便局以外の金融機関から振込む場合】

振込先：郵便局（支店コード 2 1 8）
口座名：なごやか農楽会 種類：普通
口座番号 6 8 4 4 6 9 3（7 桁）

（ご注意）郵便局 ATM から振込む場合のみ、手数料無料。他の場合、手数料が必要です。

あ と が き

各支部に、17 期の皆さんが新たに仲間として加わりました。どうぞよろしくお願ひします。暑く長い夏です。暑いなかでの農作業は、厳しいものになります。水分、塩分の補給、休憩に心掛け、熱中症にお気をつけください。

（事務局発行担当 水野・川合）